



ノーベル平和賞に日本被団協

日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）がノーベル平和賞を受賞することになった。

これは諦めずに声を上げ続ければ国際社会を動かせるという一つの大きな成果だと思う。

被爆者の方々は戦後70年以上にわたって核兵器の恐ろしさを伝え続け、人類は核兵器を二度と使うべきでない、そして地球を何度も破壊し尽くせるほど保有されている核兵器を廃絶すべきだと訴え続けてきた。世界各地で戦争が行われている昨今、日本の被爆者の声の世界平和へのメッセージになったことは素晴らしいことだと思う。

一方で、世界唯一の被爆国日本の政府、日本国国民は「平和」に対して声をあげ続けているだろうか？日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）がノーベル平和賞を受賞するといニュースを「良かった」で片付けてしまっている人が殆どではないだろうか？

「世界平和」「核兵器廃絶」は簡単なことではないが被爆者の方々は諦めず、声を上げ続けてきた。一般の日本人の人たちはどうだろうか？ウクライナ・ロシアの戦争、パレスチナ・イスラエルの戦争、世界のあちこちで反戦運動が盛んに行われているが、日本のそれは世界と比較すると参加者の人数も回数も圧倒的に少ない。

世界唯一の被爆国でありながら核兵器禁止条約に署名も批准もしない日本政府

世界唯一の被爆国でありながら、いつの間にか世界で起きている戦争は仕方ないと諦めている日本人。我々は日本被団協がノーベル平和賞を受賞したことを賞賛するだけでなく、日本被団協の方々が諦めず、頑張り続けてきたことから学ぶべきだと思う。

日本被団協がノーベル平和賞を受賞すると決まった時の速報を下記に記します。

ノルウェーのノーベル賞委員会は11日、2024年のノーベル平和賞を日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）に授与すると発表した。NHKニュースは【速報中】ノーベル平和賞に日本被団協 核兵器廃絶訴えと題して動画と共に文章でこのニュースを伝えている。

日本のノーベル平和賞受賞は、1974年の佐藤栄作元総理大臣以来、50年ぶりです。核兵器の開発や保有などを法的に禁止する核兵器禁止条約の交渉会議では、日本被団協が中心となっておよそ300万人分の署名を集め採択を後押ししました。

その後はすべての国が条約に参加することを求める「ヒバクシャ国際署名」を続けておおよそ1370万人分あまりの署名を国連に提出。

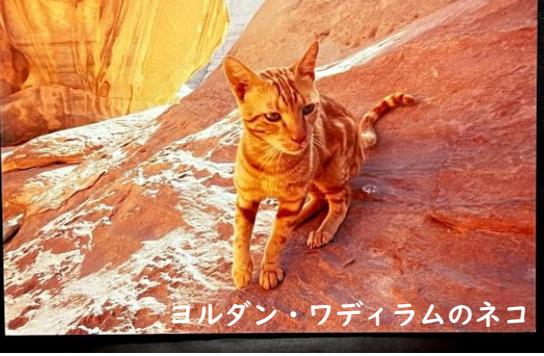
また、核兵器禁止条約は2021年1月に発効し、おとし6月にオーストリアで開かれた初めての締約国会議では、日本被団協から派遣された被爆者が核兵器廃絶への思いを訴えました。～中略～

そして、その後の文章で被爆者や政治家の感想を紹介している。



日本政府は、言っていることとやっていることが違う

久保田、11月18日よりヨルダン取材へ



ヨルダン・ワディラムのネコ

毎日新聞は日本被団協にノーベル平和賞「核兵器なき世界の実現へ努力」と短めの文章で伝えている。

朝日新聞は【随時更新】「生きているうちに核兵器なくして」被団協の箕牧さんと伝えているが有料部分の記事内容は不明。

どのニュースにも日本という国が核兵器禁止条約に署名も批准もしていないことに触れていない。

核兵器禁止条約は核兵器を「非人道兵器」として、その開発、保有、使用あるいは使用の威嚇を含むあらゆる活動を例外なく禁止した国際条約。

しかし、世界で唯一戦争による被爆国の日本が核兵器禁止条約に署名も批准もしていないことをどれだけの日本人が知っているのだろうか。

被爆者の人は「本来なら、唯一の戦争被爆国として核兵器禁止条約に参加すべきだが、それもしない。さらには、アメリカの『核の傘』に頼り、『核共有』の議論まで起きている。日本政府は、言っていることとやっていることが違う」と語っている。

広島や長崎の被爆者たちもオブザーバーとして参加するが、日本は核兵器禁止条約自体には不参加だった。日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）がノーベル平和賞を受賞するというめでたい速報ニュースだから日本という国が核兵器禁止条約に署名も批准もしていないことを伝えていないのか。

この後、伝えるのか。日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）がノーベル平和賞を受賞するという多くの人が目にするニュースだからこそ、「被爆国」日本の核兵器禁止条約に対する消極的な姿勢を伝えなければならないのではないかと、

僕が新聞社の担当デスクだったら、

「一方で日本は核兵器禁止条約に署名も批准もしておらず、日本の民間団体がノーベル平和賞を受賞したことを契機に被爆国日本としての核兵器禁止条約への対応が期待される。」と書き加えるように指示する。これが行き過ぎなら、

日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）がノーベル平和賞を受賞することになったが、日本は核兵器禁止条約に署名、批准していない。と最後に付け加えたい。

講演会・写真教室情報

編集
後記

大学生も2名参加！

2024年12月1日（日）

【講演会】14:00～15:30

【質疑応答&交流会】15:30～16:45

【定員】40名

【場所】ふれあい貸会議室 博多NO124

福岡県福岡市博多区博多駅中央街5-12

博多東ビル706号室

2024年12月2日（月）

【写真教室】14:00～16:00

【定員】8名

【場所】福岡県福岡市博多区博多駅東2-18-28

ジェントリー博多 904号室

10月20日に開催した八王子市での講演会で5回目。

今回のテーマは、「戦争と難民」。イラク戦争時の話から難民問題。当時のメディアであれば伝えられていた情報も、今では伝えられなくなってきている。そんな報道の現実を知り、多くの参加者がメディアから一方的に受け取る情報について、一歩引いて考えるきっかけができたようです。

また今回は、2名の大学生が参加し積極的な質問もしてくれました。戦争を知らない若い世代にも、この講演会を通じて、世界で起きている戦争の真実や日本の現実に向けて目を向けてほしい。そして、平和な社会の実現に向けて何ができるかを一緒に考えていければと思う。

The Real Report 坂田兼一

The
Real
Report

発行元
問い合わせ先
発行責任者

合同会社G&G Marketing TRRサポートチーム
support@giveandgiven-marketing.com
坂田 兼一